

健康・医療情報をさがすには

くわしい内容を一緒にお調べします
レファレンスカウンターへお尋ねください



はじめに

インターネットで健康や医療に関する情報を簡単に発信したり、入手できる時代になりました。その反面、誰が発信しているかわからない情報や医学的に根拠に乏しい情報も発信されています。あまりにもたくさんの情報があふれ、なにを信じてよいかわからなくなっています。この冊子は、患者、家族、市民の方々が健康や医療に関する情報を入手しようとしたときに役立つと思われる所蔵資料や信頼性が高い情報源を紹介しています。

病状や最適な治療は、ひとそれぞれ違います。提供されている情報は、標準的な情報であることをご注意ください。

この冊子は、病気に対する知識を得たり、医師や医療従事者に相談する際の参考としてお使いください。紹介しているインターネット情報は、すべて無料公開しているものです。



まず、健康・医療に関する情報をさがす際の心構えとして

日本インターネット医療協議会の

「インターネット上の医療情報の利用の手引き」

<https://www.jima.or.jp/riyoutebiki.html>

から、ポイントを紹介します。



<どんな情報を利用するか・・・質の高い情報を利用する>

- 1 情報提供の主体が明確なサイトの情報を利用する
- 2 営利性のない情報を利用する
- 3 客観的な裏付けがある科学的な情報を利用する
- 4 公共の医療機関、公的研究機関により提供される医療情報を主に利用する
- 5 常に新しい情報を利用する
- 6 複数の情報源を比較検討する

<どう利用するか・・・情報利用は自己責任で>

- 7 情報の利用は自己責任が原則
- 8 疑問があれば、専門家のアドバイスを求める

<情報利用の結果は・・・自ら検証する気持ちで、よりよい情報共有を>

- 9 情報利用の結果を冷静に評価する
- 10 トラブルに遭った時は、専門家に相談する。



図書館の健康・医療情報サービスについて

- ・病気の診断や治療方針・方法などに関する判断については、医師にご相談ください。
- ・図書館では資料や情報の提供のみを行っています。
- ・医学は日進月歩の世界です。提供する資料や情報は必ずしも最新であるとはかぎりません。
- ・健康や医療に関する知識を深め、医師等の医療従事者とより良い関係を築いたり、相談する際の参考としてご活用ください。



調べるときのポイントは？

「その情報を書いたのは誰ですか？」

「その情報はいつのものでしょうか？更新されていますか？」

「その情報の典拠は載っていますか？」

病気について調べてみよう



本

『メルクマニアル 日本語版 第18版』 日経BP社 2006.12

館内閲覧 R490.3

『家庭の医学 新赤本 第6版』 保健同人社 2008.10

598.3

『家庭医学大全科 BIG DOCTOR 6訂版』 法研 2010.10 598.3

『家庭の医学 ハンディ版』 主婦の友社 2020.10

598.3

インターネット情報

・MSDマニアル家庭版（MSD 株式会社）

<https://www.msdmanuals.com/ja-jp/ホーム>

家庭向け医学書『メルクマニアル医学百科 家庭版』の検索ができます。

医療従事者向け：<http://merckmanual.jp/mmpej/index.html>

・QLife 家庭の医学（株式会社 QLife） <http://www qlife.jp/dictionary/>

病名検索や年齢，性別，部位，症状から検索できます。病気の解説，治療法などが調べられます。執筆者一覧があり，担当した項目と所属，氏名が記載されています。

・難病情報センター（公益財団法人 難病医学研究財団/難病情報センター）

<http://www.nanbyou.or.jp/>

国が認定した難病（特定疾患）の医療情報を患者，その家族，難病治療に携わる医療関係者向けに厚生労働省健康局難病対策課と連携して提供しています。難病の解説だけでなく，国の難病対策や各種の支援制度や相談窓口の案内，患者会情報も載っています。

病気についてわかりやすい本

『よくわかる最新医学』シリーズ（主婦の友社）

49●～

『病気がみえる』シリーズ（メディックメディア）

492

図解が多く、ビジュアル化されています。参考図書室内にも常備しています。

もっと病気について知りたい！おすすめシリーズ

『標準（診療科名）学』（Standard textbookシリーズ）医学書院
医学生向けの教科書です。

49●～

『看護のための最新医学講座』（中山書店）

490.8

臨床医学の情報の図・表が多く、わかりやすく解説されています。看護学生や看護師を対象に、看護の視点が意識されていますが、一般の人にも読める解説になっています。

診療ガイドラインを調べてみよう



「診療ガイドライン」とは

科学的根拠に基づき、系統的な手法により作成された推奨を含む標準的な治療方法を示した文書です。ガイドラインに示されるのは一般的な診療方法であるため、必ずしも個々の患者に当てはまるとは限りません。また、すべての病気を網羅したものではありません。

インターネット情報

- ・Minds(マインズ)ガイドラインライブラリ（公益財団法人 日本医療機能評価機構）

<http://minds.jcqhc.or.jp/>

日本で公開された診療ガイドラインを収集し、評価選定の上、ホームページ上に掲載しています。一般向けの解説等、診療ガイドライン関連情報の公開も行っています。診療ガイドライン及びガイドライン解説を検索できます。

- ・東邦大学・医中誌 診療ガイドライン情報データベース

（東邦大学医学メディアセンター／医学中央雑誌刊行会） <http://guideline.jamas.or.jp/>

どのようなガイドラインがあるか検索できるデータベースです。一部のガイドラインについては、リンク先からの本文の閲覧が可能です。



『患者さんのための乳がん診療ガイドライン 2019年版』

日本乳癌学会編 金原出版 2019. 7 495.4

『診療ガイドラインUP-TO-DATEー日常診療に活かすー 2018→2019』

メディカルレビュー社 2018. 1 492

など、そのほか主に患者さん向けに書かれたガイドラインやガイドラインを基にしたものを所蔵しています。

インターネットでがんについて調べる

- ・がん情報サービス 一般の方向けサイト（国立がん研究センター がん情報対策情報センター） <http://ganjoho.jp/public/index.html>

それぞれのがんの解説、診断・治療法、生活や療養、予防と検診、相談窓口、病院の情報など、がんに関するあらゆる情報を網羅的に調べることができます。医療関係者向けサイトも用意されています。

調布市立中央図書館5階の健康・医療情報コーナーでは、国立がん研究センターがん情報対策情報センターがすべての人が、必要なときに信頼できるがん情報を得られる社会を目指して全国の図書館に提供している「がん情報ギフト」と、サイト内の案内をプリントアウトしてご覧いただいています。



- ・がん情報サイト Cancer Information Japan（公益財団法人 先端医療振興財団）

<http://cancerinfo.tri-kobe.org/pdq/summary/>

米国国立がん研究所（NCI）が配信している世界最大最新の包括的がん情報データベース PDQ®（Physician Data Query）の日本語版をはじめとするがんに関する情報を配信しています。アメリカ合衆国の医療事情に基づく情報が多く含まれ、日本国内で認められていない診断・治療方法、薬剤等も含まれます。NCIのPDQ®コンテンツ配信のグローバルパートナーとして、（公財）神戸医療産業都市推進機構 医療イノベーション推進センターが運営しています。

- ・（公益財団法人）日本対がん協会 <http://www.jcancer.jp/>

がん・検診について、がん相談サポート（がん相談ホットライン、医師による面接相談、医師による電話相談）や国のがん対策事業などの情報などを得ることができます。日本対がん協会は、がんを早期発見、早期治療し、がんによる死亡の防止を目標にしています。

- ・Minds(マインズ)ガイドラインライブラリ（公益財団法人 日本医療機能評価機構）

<http://minds.jcqhc.or.jp/>

Minds(マインズ)ガイドラインライブラリで診療ガイドラインを探す→「カテゴリの選択」で「がん」をクリックすると161件のガイドラインの紹介があり、一部のガイドラインが閲覧可能です。すべてのがんが網羅されているわけではありません。「診療ガイドライン」の項参照。

- ・がんチャンネル（NPO 法人 がんネットジャパン）

<http://www.cancerchannel.jp/>

各種がんについてのビデオや動画が用意されています。各種イベント等の情報が公開されています。関連する複数の団体が連携し、メディア発信等を行っています。

- ・東京都がんポータルサイト（東京都福祉保健局）

http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/iryo/iryo_hoken/gan_portal/index.html

東京都内の病院を地域や病院の種類から探すことができます。東京都がん対策推進計画も掲載されていて、東京都内における、がん患者やその家族など支援の内容が案内されています。

がんの相談窓口についてのインターネット情報

- ・がんの相談窓口「がん相談支援センター」（国立がん研究センターがん対策情報センター）

<http://ganjoho.jp/public/consultation/cisc/index.html>

「がん相談支援センター」は、全国のがん診療連携拠点病院などに設置されているがんに関する相談窓口です。その病院に通院していなくても、誰でも無料で利用できます。

がんの診断から治療、その後の療養生活、さらには社会復帰と、生活全般にわたって相談ができます。

- ・がん相談支援センターの概要（東京都福祉保健局）

http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/iryo/iryo_hoken/gan_portal/soudan/center.html

東京都では、がん患者とその家族や地域の医療機関等からの相談に対応する窓口として、国指定のがん診療連携拠点病院と、東京都指定の東京都がん診療連携拠点病院に、「がん相談支援センター」が設置されています。東京都内のがん相談支援センター一覧が掲載されています。

がん相談支援センターでは、がんの治療を受ける上での不安や悩みや療養生活、治療と仕事の両立などについて、看護師やソーシャルワーカー等が、電話や面談による相談に対応しています。相談支援センターは御本人や御家族のほか、地域の方々はどなたでも御利用いただけます

- ・「**がんと就労白書**」（国立がん研究センターがん対策情報センター）

<https://ganjoho.jp/public/support/work/index.html>

日経 BP 社の Web サイト「がんと共に働く 知る・伝える・動きだす外部サイトへのリンク」に掲載された内容を年度ごとに再構成し、さらに「がんに対する意識調査」のサマリーも加えて編集したものです。

- ・「**事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン ～がんなどの疾病を抱える方々の治療と職業生活の両立を支援する企業に向けて～**」（平成 28 年 2 月）

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000113365.html>

がん、脳卒中などの疾病を抱える人々に対して、適切な就業上の措置や治療に対する配慮を行い、治療と職業生活が両立できるようにするため、事業場における取組などをまとめたものです。このガイドラインのポイントは、治療と職業生活の両立支援を行うための環境整備、治療と職業生活の両立支援の進め方、「がん」について留意すべき事項をとりまとめています。



治療と仕事の両立について（厚生労働省）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000115267.html>

医療機関を探す

最新の情報は該当の病院に
直接問い合わせをして確認が必要です。



インターネット情報

- ・東京都医療機関・薬局案内サービス “ひまわり” “t-薬局いんぷお”

<http://www.himawari.metro.tokyo.jp/qq/qq13tomnlt.asp>

東京都内の医療機能情報と薬局機能情報を東京都が提供するシステムです。病院・診療所・歯科診療所・助産所などの医療機関情報を地域や科目といった色々な条件から探すことができます。

名称、所在地、診療科目や診療日・診療時間などの基本的な情報や対応できる治療内容、院内体制・院内サービス、交通アクセス、相談窓口の案内等が掲載されています。薬局の検索もできます。

- ・独立行政法人 国立病院機構 https://nho.hosp.go.jp/about/cnt1-O_000103.html
全国の国立病院の案内があります。

- 病院機能評価結果の情報提供 （公益財団法人 日本医療機能評価機構）

<http://www.report.jcqh.or.jp/index.php>

中立的・科学的・専門的な第三者機関として、病院の運営管理と提供される医療について評価しています。一定の水準を満たしていると認められた病院である「認定病院」を検索できます。

- WAM NET（ワムネット） （独立行政法人 福祉医療機構）

<http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/>

独立行政法人福祉医療機構が運営する、福祉・保健・医療の総合情報サイトです。サービス提供機関の情報として、各自治体の医療機能情報や各都道府県の救急・夜間診療情報サイトへリンクしています。

本

- 『病院最前線』【年刊】（毎日ムック）（毎日新聞出版） 498.1
“あなたのお近くの名医がこの一冊で探せる” をコンセプトに最新情報を掲載しています。
- 『病院の実力 総合編』【年刊】（Yomiuri special）（読売新聞東京本社） 498.1
手術数・治療数の病院の実績一覧や最新の医療情報も紹介しています。

医師を調べる

インターネット情報

- 医師等資格確認検索 （厚生労働省）

<https://licenseif.mhlw.go.jp/search/jsp/top.jsp>

医師、歯科医師の資格を確認することができます。2年に1度実施される医師調査、歯科医師調査において調査票の提出があった医師等が検索対象になっています。氏名、性別を入力する必要があり、姓と名の間に一字あけないとヒットしません。

- researchmap <https://researchmap.jp/>

「研究者検索」では、医学分野だけでなく、研究者が研究キーワードや研究分野、エリアや所属機関などから検索できます。



調布市立中央図書館 5階 健康・医療情報コーナーのご案内

「必要としている人たちに必要な情報を届けたい。」そういった思いから、生活支援の取り組みのひとつとして、このコーナーはスタートしました。

こちらでは、病院内でよく見かける、健康や様々な病気の治療や予防に関連するパンフレットを配布しています。また、市内の各種検診や夜間・休日診療の案内などが載った「調布市健康ガイド」など、市からの情報も配布しています。

国立がん研究センターがん対策情報センター作成の「各種がんシリーズ」、「がんと療養シリーズ」、「社会とがんシリーズ」「がんを知るシリーズ」などのがんの冊子や「知れば安心 がん情報」などの「がんの啓発チラシ・カード」を配布、閲覧できるようになっています。

また、がんについて信頼できる、最新の正しい情報をわかりやすく紹介している、国立がん研究センターの「がん情報サービス」のホームページを印刷して、ご覧いただけるようになっています。各項目はがんに関する情報が満載です。一緒にお調べしますので、気軽に5階のレファレンスカウンターに声をおかけください。

国立がん研究センターがん対策情報センター編著の書籍、『がんになったら手にとるガイドー患者必携ー普及新版』や『もしも、がんが再発したらー本人と家族に伝えたいこと 患者必携ー』も図書館内で閲覧できるようになっています。

その他、中央図書館の5階には医学、病気と治療、健康法、病院ガイド、くすりなどに関する図書があり、参考資料室内には医学に関する事典があります。

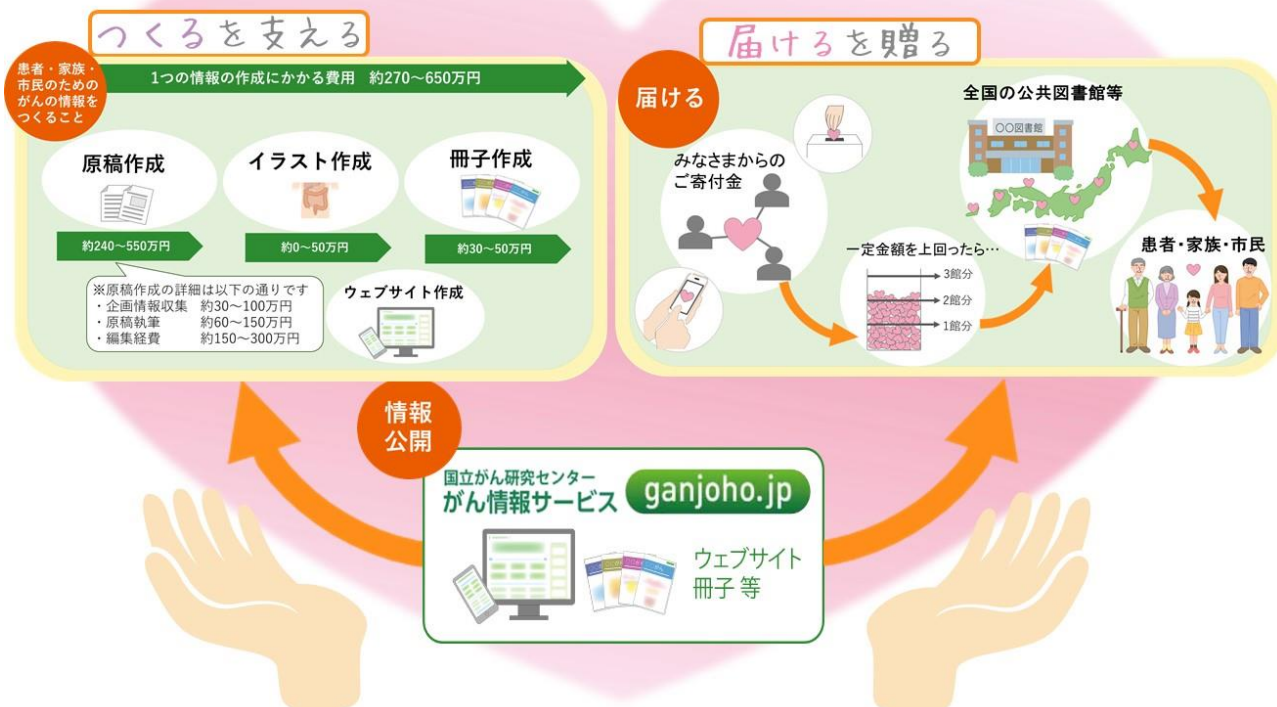
4階には家庭医学に関する図書や、健康や病気に関する雑誌があります。

図書館はあなたの味方です。

調べものや知りたいことなど、5階のレファレンスカウンターへどうぞ！

資料による回答や必要な情報を調べるお手伝いをします！





「がん情報ギフト」プロジェクトは、がんになってもあわてず、必要な情報を得て、自分らしく生活できる社会を実現するため、ウェブサイト「がん情報サービス」の科学的根拠に基づいた「確かな」「わかりやすい」「役に立つ」がんの情報を国民のみなさまに提供すること、そしてこのがんの情報を全国の図書館に寄贈することを支えるものです。全国の皆さまからの寄付で、がんの情報を手にとりやすい冊子の形にしてお届けすることで、地域の図書館が、がんの情報発信基地として、また地域のがん相談支援センターに橋渡しする窓口となっていく環境づくりを目指します。